２０１３
８月版

アイジー断熱サイディング

ガルスパン®シリーズ

施工説明書

掲載商品

ガルスパン® NEO-Jフッ素（縦/横）
ガルスパン® SEiフッ素（縦）

施工前にこの施工説明書を必ずお読みの上、正しく施工してください。
（「金属サイディングの維持管理について」P4、5を必ずお読みください。）

IG KOGYO

2014年2月吉日

お客様各位

アイジー工業株式会社
山形県東根市蟹沢上縄目1816-12
TEL 0237(43)1810

新商品「ガルスパンＳＥｉ フッ素」発売のご案内

拝啓　貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃はアイジー商品をご愛顧頂き、厚くお礼申し上げます。

ご好評いただいております「ガルスパンＳＥｉ」をさらに進化させた外装材として、この度、新商品「ガルスパンＳＥｉ フッ素」を発売致しますので、下記の通りご案内申し上げます。

皆様方におかれましては、これを機会にアイジー商品のより一層のご愛顧をお願い申し上げます。

敬具

記

１．商品名　　ガルスパンＳＥｉ フッ素

２．発売日　　２０１４年２月１日

３．本体規格

■働き幅　３００㎜　　■総　幅　３３２㎜　　■重　量　１４．４ｋｇ／3.3㎡
■厚　さ　１５㎜　　■入り数　８枚　　■張り方向　縦張り

	長　さ	長　さ
標準品	3,０００㎜	２．１８坪（７．２０㎡）
	4,０００㎜	２．９１坪（９．６０㎡）
準標準品	6,０００㎜	４．３６坪（１４．４０㎡）
特注品	2,７８０～7,０００㎜ （１０㎜単位で設定可）	－

※特注品は、１サイズ５ケースからの取り扱いになります。

４．色種類

ＦネオブラックＦシルバーメタリック、ＦビターブラウンＦネオホワイト、
ＦダークメタリックＦレイクブルーメタリックＦシャンパンメタリック　（全７色）

５．特　長　　耐候性、遮熱性に優れたフッ素樹脂塗装鋼板を採用。

６．施工方法　施工方法は「ガルスパンＳＥｉ」と同じです。

７．認定関係　構造認定は「ガルスパンＳＥｉ」と同じです。

以上

目 次

事故防止のために 1

取り扱い時のお願い 2

設計上の注意 …… 2
運搬、保管上の注意 …… 2
施工上の注意 …… 2
補修上の注意 …… 3
廃棄物の注意 …… 3
維持管理のポイント …… 3
その他 …… 3

金属サイディングの維持管理について 4

維持管理の目的 …… 4
外壁の点検方法 …… 4
メンテナンススケジュール …… 4
クリーニングについて …… 5
安全に関する注意 …… 5

本体規格・付属品規格 6

ガルスパンNEO-Jフッ素 …… 6
ガルスパンSEi …… 8

物性一覧 10

認定関係 11

防耐火構造認定 …… 11
材料認定 …… 11
地域の制限 …… 11
建築基準法の制限 …… 12
せっこうボードについて …… 13
認定仕様 …… 14

施工の手順とポイント 33

全体的な施工の流れ …… 33
施工に必要な工具 …… 34

木造下地 縦張り 横張り 共通
柱・間柱・サッシなどのチェック
水切の取り付け
透湿防水シート張り 35

木造下地 縦張りの場合
胴縁の取り付け
水切15Sの取り付け
先付け付属品の取り付け
本体の施工
後付け付属品の取り付け
シーリング材の施工 36

鉄骨下地 縦張りの場合
胴縁・サッシなどのチェック
水切15Sの取り付け
防水紙張り 43

木造下地 横張りの場合
胴縁の取り付け
水切15Sの取り付け
先付け付属品の取り付け
本体の施工
後付け付属品の取り付け
シーリング材の施工 44

鉄骨下地 横張りの場合
胴縁・サッシなどのチェック
水切15Sの取り付け
防水紙張り 50

積雪の影響（雪の負荷）のある地域での対処 … 51

縦張りの施工　木造下地 52

A．土台 …… 53
B．出隅 …… 57
C．入隅 …… 58
D．縦継ぎ …… 60
E．軒 …… 62
F．下屋見切り …… 65
G．笠木 …… 67
H．下がり壁 …… 68
I．開口部 …… 70

縦張りの施工　鉄骨下地 73

A．土台 …… 74
B．出隅 …… 76
C．入隅 …… 77
D．縦継ぎ …… 79
E．軒 …… 81
F．笠木 …… 83
G．下がり壁 …… 84
H．開口部 …… 86

横張りの施工　木造下地 89

A．土台 …… 90
B．出隅 …… 91
C．入隅 …… 91
D．横継ぎ …… 92
E．軒 …… 93
F．下屋見切り …… 95
G．笠木 …… 97
H．下がり壁 …… 97
I．開口部 …… 99

横張りの施工　鉄骨下地 102

A．土台 …… 103
B．出隅 …… 103
C．入隅 …… 104
D．横継ぎ …… 105
E．軒 …… 106
F．笠木 …… 107
G．下がり壁 …… 107
I．開口部 …… 109

E幕板 112

規格図 …… 112
施工上の注意 …… 113
施工手順 …… 114
納まり図 …… 116

付属品の加工方法　木造・鉄骨共通 117

土台[出隅][入隅] …… 117
土台[出隅]①／縦継ぎ[出隅]① …… 118
土台[出隅]②／縦継ぎ[出隅]② …… 119
軒[出隅]①／軒[出隅]② …… 120
軒[出隅]③ …… 121
下がり壁[出隅]①② …… 122
土台[入隅]／軒[入隅] …… 123
開口部 …… 124

免責事項 129

事故防止のために

金属サイディングは壁材です。壁以外の部位に使用しないでください。

⚠ 警告　死亡または重傷を負う可能性が想定される場合の表示です。

1．強風・雨天・降雪時の高所作業は中止してください。
風にあおられる・雨や雪ですべるなどの原因で、落下事故の可能性があります。
2．高所作業は関係法規に従ってください。事故の可能性があります。

⚠ 注意　取り扱いをあやまると障害を負う危険や物的損害などの可能性が想定される場合の表示です。

1．取り扱いの際はゴム付き手袋や保護眼鏡などの保護具を着用してください。ケガをする可能性があります。
2．現場加工時、鋼板の切断面に生じたバリは取り除いてください。ケガをする可能性があります。
3．防水のため、施工の際は、働き幅による割り付けを行ってください。
4．サイディング本体の裏面や切断面に、溶接の炎、火花などが当たると引火するおそれがありますので、養生するなど特に注意してください。
5．防火のため、加熱箇所との取り合いには、めがね石など有効な部材を使用してください。
6．包装材・残材などは産業廃棄物として処分してください。
7．シーリング・タッチアップペイントなどは製品安全データシート(MSDS)に従って正しく使用してください。
8．電動工具など、工具を使用する際は、各工具の取扱説明書に従って正しく使用してください。
9．真夏の日射が強い時は、金属サイディングの表面温度が高くなり、やけどのおそれがありますので注意してください。

取り扱い時のお願い

●設計上の注意

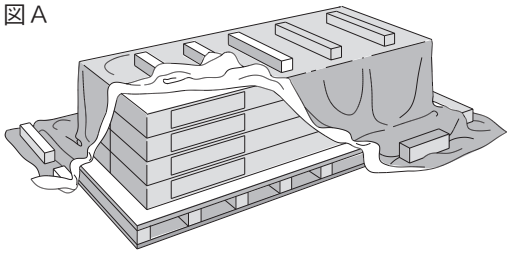
アイジー断熱サイディングを次のような部位や施工方法で使用しないでください。性能、機能の低下などの不具合を招く原因となります。

・屋根などの外壁以外の部位での使用。
・傾斜のあるパラペットへの使用。
・異種金属との使用（銅屋根などの異種金属からの雨水が接触すると、電食が起こる場合があります。異種金属との取り合いには注意してください）。
・Ｒ面での使用（商品をＲ面に施工すると、耐風圧強度の低下、かん合部からの雨水の浸入を招くおそれがあります）。
・煙突回りなど加熱箇所での使用（防火のために、めがね石など有効な部材を使用してください）。
・笠木の外勾配施工（外勾配にすると大量の雨水が商品表面を流れ、汚れの付着や塗膜の劣化が早まります）。
・商品を斜めに張ること、または縦張り商品を横張りで張るなど、指定の張り方向以外での使用。
・乱張り施工（商品を千鳥調に張るなどの行為は、雨漏りの原因となります）。
・塗膜の厚いセメントスタッコなどの上塗り、タイルなどの直張り。
・付属品だけによるサイディング本体の固定（サイディング本体は、必ず留め具で直接下地に留め付けてください）。
・積雪などを考慮しない設計（積雪の影響（雪の負荷）のある地域では、サイディング本体と付属品に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください）。
・土台部・下屋見切り部で縦用スターターを使用する場合、土台部・下屋見切り部に積雪の影響（雪の負荷）のある地域では、アルミ縦用スターター15の使用をお勧めします。縦用スターター15は雪の重みで変形するおそれがあります。
・縦張り時の縦継ぎ部にアルミ縦用スターター15を使用すると、防耐火構造認定の対象外となります。

●運搬、保管上の注意

・梱包された商品を持つ際には、ＰＰバンドを持たないでください。
・1ケースあるいは開梱した商品を手で持つ際には、小端立てにして運んでください。
・運搬に必要な人数は、6m未満は2人以上、6m以上は3人以上を目安にしてください。
・車両による運搬時には、荷台に突起物や濡れ、汚れがないことを確認した上で、平積みにしてください。
・急ブレーキなどによる荷崩れ、損傷を防ぐため、ロープをかけ、角には必ず当て板を入れてください。
・ロープの締め付けが強すぎると商品の破損につながるおそれがあります。過度の締め付けは避けてください。
・商品の保管は、雨水、湿気などの影響を受けない風通しのよい屋内の平らな場所で行ってください。
・屋外に保管する際は、パレットあるいは、りん木の上に合板を重ねた水平面に置き、さらに防水シートなどで覆ってください。（図Ａ参照）
・商品が破損するおそれがありますので、次のような行為は避けてください。
■商品を放り投げる、または落とすこと。
■商品の上に人が乗る、または重量物を載せること。
■商品の片方をりん木やトラックのあおりなどに載せて斜めに置き、保管や運搬すること。
■商品をりん木やフォークリフトのつめに直に置き、２点支えにすること。
■商品より小さなパレットを使用すること。（パレットの角で商品が破損するおそれがあります）

図Ａ



●施工上の注意

「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」について
住宅の防水に関する施工方法は、加入している住宅瑕疵担保責任保険法人の設計施工基準を確認してください。

1．防水処理について
・防水の万全を期すために下地に透湿防水シート、またはアスファルトフェルト（通気構法以外）を使用してください。
・開口部周囲などの所定の部位には防水テープを使用してください。
・サイディング本体と付属品のすき間から雨水の浸入を防ぐため、必ず指定の位置にシーリング材を施工してください。（各納まり図参照）
・横張り商品は、サイディング本体かん合部に水の横走りによる漏水を防止するために捨てシーリングが必要です。サイディング本体左右端部に横走り防止シーリングを施工してください。（P47参照）
・縦張り商品で開口部上に小口カバーを使用する際は、サイディング本体端部からの雨水の浸入を防止するため、一枚ごとに縦走り防止シーリングを施工してください。（P40参照）
・サイディング本体を切断して納める際は、しん材の吸水を防ぐため、サイディング本体の下部からしん材を10㎜程度取り除いてください。（縦用スターターを使用する場合は、しん材を取り除く必要はありません）
・シーリング材はしん材には接着しません。切断面にシーリング材を施工する場合には、必ず表面材に箱折加工を施してください。
・換気口や、エアコン配管の取り付けのために商品に穴をあけた際は、有効な防水処理を行ってください。

2．商品の破損防止のために
・すり傷防止のために、商品表面を直に地面に置く、金属製足場板など硬いもので擦るなどの行為は避けてください。
・塗装が傷みますので、商品表面に切断時の切粉、火花などを当てないでください。
・サイディング本体の切断は、商品表面のすり傷防止のため、商品裏面側を上にして切断してください。
・換気口や、エアコン配管を外壁面に取り付ける際は、必ず下地材に取り付け、商品には取り付けないでください。
3．さび防止のために
・商品を切断した際に出る切粉は、ハケなどで払ってください。
・商品の取り付けねじ類は、ステンレス製を推奨します。
・縦用スターターを使用する場合は、サイディング本体を切断した際の切粉や施工時に発生する切粉が縦用スターター内に残らないよう、必ず取り除いてください。さびの原因となります。
4．その他
・アイジー断熱サイディングには必ず純正付属品を使用してください。それ以外の部材では十分な性能を得られないことがあります。
・しん材やアルミライナー紙には水をかけないでください。
・商品にモルタルなどが付着した場合は、速やかに除去してください。
・基礎モルタルへ商品を埋め込んで施工しないでください。
・付属品だけで、サイディング本体を固定するのは不十分です。サイディング本体は必ず留め具で直接下地に留め付けてください。
・建物の高さが13mを超える部分にキャップ系付属品を使用する場合は、脱落防止のため、脳天ビス留めをしてください。鉄骨下地で、脳天ビス留めを施す横継ぎ部には、C型鋼ではなく、角型鋼管100×100×2.3㎜を使用してください。
・必要な耐風圧力に応じ、縦張り時は縦用スターター15を使用してください。
・サイディング本体のアルミライナー紙にしわや凸凹が発生している場合がありますが、サイディング本体の性能に影響はありません。
・サイディング本体を取り付ける胴縁の出入り（不陸）により、仕上がりの意匠に影響が出る場合があります。隣り合う胴縁の不陸は、木造下地の場合は2㎜以内、鉄骨下地の場合は3㎜以内に抑えてください。また、胴縁同士のつなぎ目の不陸も同様です。
・サイディング本体に室内側から何らかの力が加わると、仕上がりの意匠に影響が出る場合があります。取り付け面に突起物がないことを確認し施工してください。また、躯体とサイディング本体との間に充てん材などを施工する場合は、サイディング本体に充てん材などの反発力が作用しない構造としてください。
・開口部などで本体を切り欠く際は、各部材の位置を確認し本体に無理な力がかからないように切り欠き寸法を設定し切断してください。また、本体を変形させるような無理なはめ込みは避けてください。
・本体を切り欠き加工すると強度が低下し破損しやすくなります。持ち運び時には切り欠き部に当て板を当てるなどして、破損しないように注意してください。オスメス両側を切り欠いた際は特に注意してください。

●補修上の注意

1．表面材の補修
・降雨及び降雪がある際は補修を避けてください。
・補修の前に表面の汚れ、ホコリ、水分などがある場合は布などで拭き取ってください。
・商品表面の傷の補修には、必ず純正のタッチアップペイントを用い、製品安全データシート（MSDS）に従って正しく使用してください。
・タッチアップペイントは、使用前によく撹拌してから使用してください。カタカタという音がしてから30秒以上振り、よく撹拌してください。
・タッチアップペイントは、ごく狭い範囲の軽微なすり傷のみに使用してください。商品の変形を伴う傷や、広範囲にわたる塗装は、専門の業者に依頼してください。
・事前に商品の端材などで試し塗りをして、色調の確認を行ってください。
・タッチアップペイントは、常乾タイプの塗料です。商品とは塗料タイプが異なりますので、色や艶などに多少の差異が発生する場合があります。あらかじめご了承ください。
・ガルスパンNEO-Jフッ素にタッチアップペイントを使用する場合は目荒しが必要です。補修するすり傷部分に、ナイロン不織布（推奨品：マジックロン#240）を使用して目荒しを行ってください。目荒しを行わない場合、タッチアップペイントとガルスパンNEO-Jフッ素の塗膜に密着性が得られませんので注意してください。
2．アルミライナー紙の補修
・尖った物などでアルミライナー紙が損傷した場合は、必要に応じて市販のアルミテープなどで補修してください。

●廃棄物の注意

・包装材、残材などの廃材は、産業廃棄物として適切に処理してください。

●維持管理のポイント

1．シーリングの確認
・シーリング材は２～３年を目安に点検してください。経年変化による劣化で切れが生じる場合があります。切れた場合には補修することにより漏水を未然に防いでください。
2．外壁の汚れの確認
・大気中にはサイディング表面基材の腐食の原因になるさまざまな要因が含まれています。自動車の排気ガス、工場からの排煙、海塩粒子、凍結防止材など、多種多様な要因があります。近年、環境公害のひとつとして酸性雨問題があります。酸性度の強い水分との接触や付着水分の蒸発、濃縮により表面塗膜の耐久性が低下しさびの発生に至る場合があります。汚れが著しい場合はクリーニングをお勧めします（「金属サイディングの維持管理について」Ｐ４，５参照）。

●その他

・日射による熱の影響で、朝・夕の温度変化時に、表面鋼板の伸縮により、かん合部などからまれに音が発生する場合があります。

金属サイディングの維持管理について

住宅のロングライフ実現に向けて外壁の適切なメンテナンスが必要です。

■維持管理の目的

大気中には金属サイディング表面基材の腐食の原因になるさまざまな要因が含まれています。自動車の排気ガス、工場からの排煙、海岸地帯の海塩粒子、凍結防止剤など、多種多様な要因があります。
近年、環境公害のひとつとして酸性雨問題があります。酸性度の強い水分との接触や付着水分の蒸発、濃縮により表面塗膜の耐久性の低下やさびの発生に至る場合があります。
住宅の長寿命化を実現するためのひとつとして、金属サイディングの適切なメンテナンスが重要であり、外壁の性能を維持するために定期的な維持管理をお勧めします。

■外壁の点検方法

点検はお施主様ご自身で行ってください。

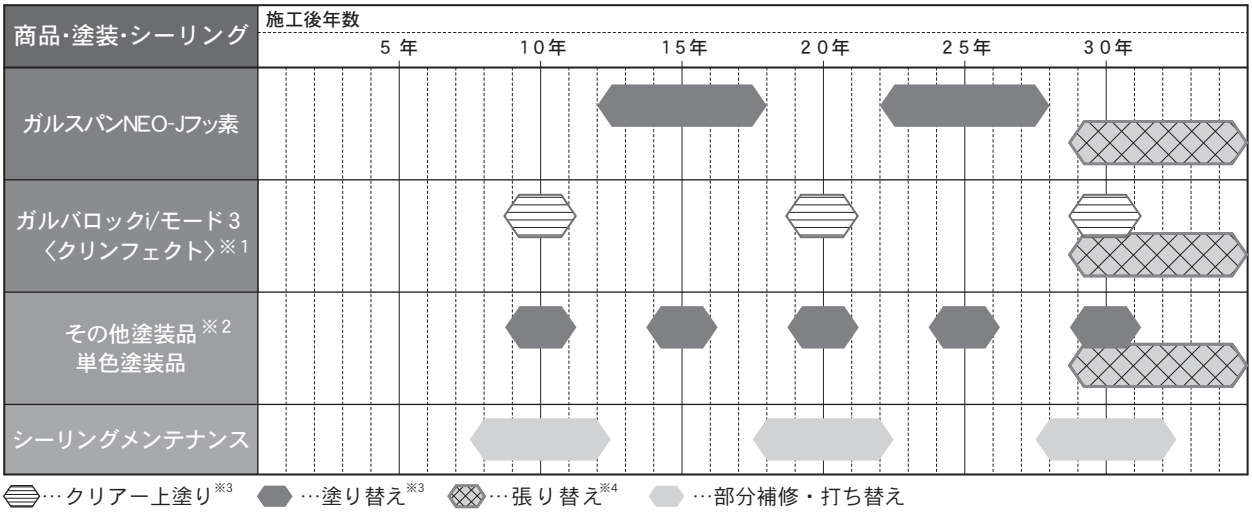
サイディング本体の点検	サイディング本体に傷、へこみなどがないか目視で点検してください。
付属品の点検	付属品に傷、へこみなどがないか目視で点検してください。
塗膜の点検	塗装表面に白亜化（触ると白い粉が手に付く現象、チョーキング）、変色、さびなどが発生していないか目視で点検してください。
シーリングの点検	シーリングに剥離、亀裂などが発生していないか目視で点検してください。

・環境や気象、立地条件などで異なりますが、塗膜は3～5年、シーリングは2～3年を目安に点検してください。

外壁の点検により気になる不具合を発見した場合は、早めに施工店にご相談の上、専門業者に依頼してください。
（メンテナンス費用はお施主様負担となります）

■メンテナンススケジュール

こまめにお手入れをし、傷みを早めに補修することで外壁を長持ちさせ、住宅を守ります。



注意
・メンテナンススケジュールは目安として活用してください。住宅の地域や環境により表面劣化の進行が異なります。
・メンテナンス時期を保証するものではありません。

・塗り替えは、表面状態を確認の上で判断してください。変色が著しく、白亜化（触ると白い粉が手に付く現象、チョーキング）が現れた状態が塗り替え時期と見なせます。

※1：ガルバロックi/モード3クリンフェクトに上塗り塗装すると、防汚コーティング機能は失われます。
※2：シンクロレイヤー塗装（モード2）及び、ツートン塗装（モード1）に上塗り塗装すると、初期の風合いを再現することはできません。
※3：2回目以降の塗り替え時期は塗料タイプにより異なります。使用される環境、耐用年数などを検討の上、専門業者とご相談ください。
上記塗り替え時期は、ガルスパンNEO-Jフッ素は一般的なフッ素樹脂塗料を、その他の金属サイディングは一般的なアクリル樹脂塗装を使用した場合を想定しています。
※4：張り替え時期については、専門業者に建物全体の躯体状況を確認の上、総合的に判断してください。

■クリーニングについて

外壁を美しく保つために、年に数回の水洗いをしてください。

アイジー断熱サイディングは、めっき鋼板の中でも耐久性に優れたガルバ鋼板※を使用しております。
しかし、汚染物質の長期の付着により、数年で表面にシミや白さび、黒さびが発生した例が報告されております。シミや白さび、黒さびが発生しても、サイディングの機能上支障はありませんが、外観が損なわれるため表面塗装の塗り替えの時期が短くなります。但し、年間数回簡単に水洗いすることで、美しい外観を長期間保つことが可能です。

※55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板

■クリーニング回数の目安

立地条件	回数の目安
海岸地帯	年 4 回
工業地帯	年 3 回
市街地	年 2 回
田園地帯	年 1 回

大気汚染の状況に応じて、さらに年間の洗浄回数を増やすことをお勧めします。

■クリーニング方法

1 水洗いにより、塵や汚れを洗い落とし、柔らかいスポンジや布で十分に水洗いしてください。

2 水洗いで取れない汚れなどは、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使用し、最後に水洗いしてください。

【注意事項】

・強くこすったり、硬いブラシ、研磨性のあるスポンジなどを使用すると塗膜表面に傷が付き腐食を招くおそれがあります。
・水切部や、下屋見切部、窓上などのサイディング本体を切断してシーリング材を施していない場所には、ホースなどで下から直接水をかけないでください。
・クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤や、酸性やアルカリ性の洗剤は、塗膜を傷め変色・退色を招くおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
・シンナーなどの有機溶剤やタイル洗浄剤などは塗膜を破壊するおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
・中性洗剤を使用した後は十分な水洗いを行い薬剤を洗い流してください。
・洗浄後は、乾いた布で水分をよく拭き取ってください。

■クリーニングのポイント

塗膜の劣化や鋼板の腐食は、塵やほこり、酸性雨や酸性雪に含まれる自然からの汚染物質と、車や給湯器・暖房機などの排気・燃焼ガスによる汚染物質が、雨や水蒸気などにより外壁に停滞して進行します。よって、雨水が当たりにくく汚染物質が流れにくい部分や過度に汚れがひどい部分（下記参照）を重点的に洗浄すると効果的です。

重点洗浄箇所

1 軒　下
2 バルコニーや出窓の下
3 アルコーブなどの内部に入り込んだ所
4 庇の下
5 給湯器・暖房機などの燃焼ガスの発生する所

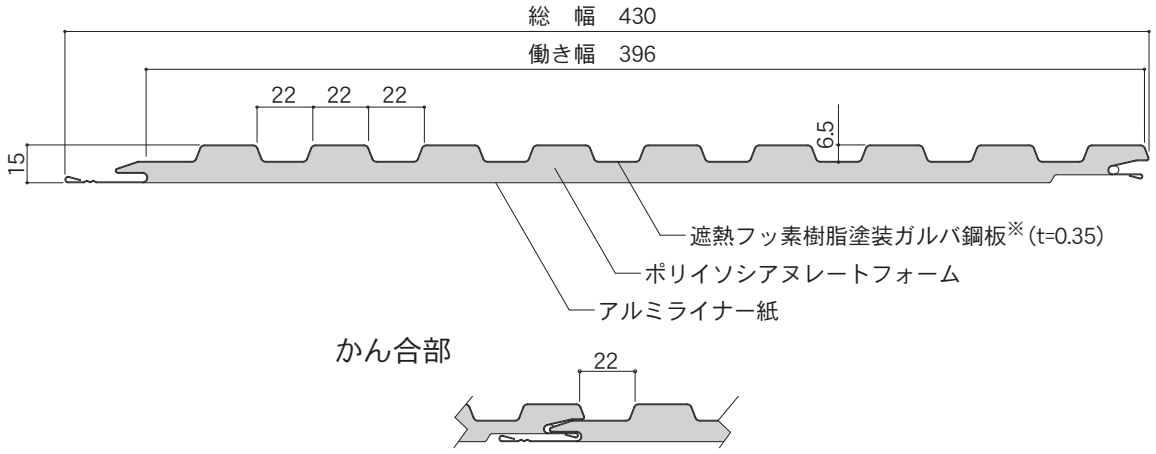
安全に関する注意

・**お施主様ご自身で高所作業を伴う点検やお手入れは絶対に行わないでください。**落下事故やけがの原因となります。
・点検は外壁を目視で確認できる範囲にとどめてください。高所作業の場合は、専門業者に相談してください。
・再塗装などの補修工事はお施主様ご自身では絶対に行わないでください。専門業者に相談してください。
・ハシゴや脚立などはサイディング面に直接立て掛けると、傷・へこみが生じるおそれがありますので、立て掛けないでください。 傷が付いた場合はP3の「補修上の注意」を参考にしてください。
・洗剤を使用しての洗浄の際は、周辺の生物に影響がないよう、十分に注意してください。

ガルスパンNEO-Jフッ素

本体形状断面図

単位：㎜



本体規格

	標準品		準標準品		特注品
・働き幅　396㎜	長さ	1 梱包（6枚）面積	長さ	1 梱包（6枚）面積	長さ
・総　幅　430㎜	3,000㎜	2.16坪（7.13㎡）	6,000㎜	4.32坪（14.26㎡）	2,780～8,000㎜ （10㎜単位で設定可）
・重　量　16.5kg/3.3㎡					
・厚　さ　15㎜	4,000㎜	2.88坪（9.51㎡）			
・張り方向　縦張り、横張り					

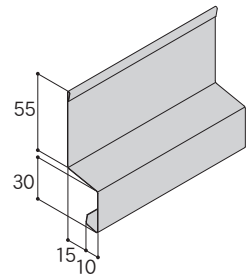
○「準標準品」「特注品」の納期・配送・引き取り方法などにつきましては、事前に必ずご確認ください。
○「特注品」は、1色、1回のご注文につき1サイズ5ケース以上の取り扱いになります。
下地で不陸などがある場合、長尺品はかん合がきつくなるおそれがありますので注意してください。

付属品規格図

単位：㎜

水切15 S

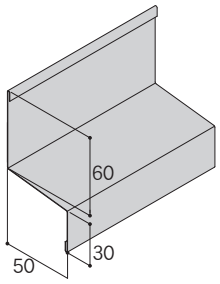
長　さ：3,030㎜
梱包単位：10本/包



適用部位：土台・縦継ぎ・開口部

通気水切15

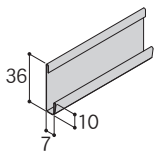
長　さ：3,030㎜
梱包単位：10本/箱



適用部位：土台

スターター15 S

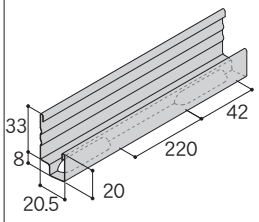
長　さ：3,030㎜
梱包単位：10本/包



適用部位：土台

縦用スターター15(注1)

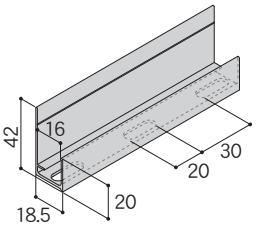
長　さ：3,030㎜
梱包単位：10本/包



適用部位：土台・縦継ぎ・下屋見切り・開口部

アルミ縦用スターター15(注1)

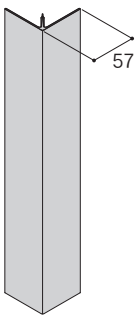
長　さ：4,000㎜
梱包単位：10本/包
材　質：アルミ押出品



適用部位：土台・下屋見切り

出隅キャップ15-25 S

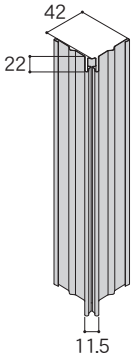
長　さ：3,030㎜
梱包単位：4本/包



適用部位：出隅

出隅下地15N

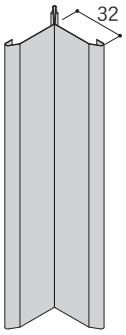
長　さ：3,030㎜
梱包単位：4本/包



適用部位：出隅

入隅キャップ15-25 S

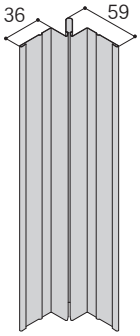
長　さ：3,030㎜
梱包単位：5本/包



適用部位：入隅

入隅下地15 S

長　さ：3,030㎜
梱包単位：5本/包



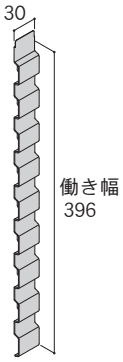
適用部位：入隅

材質は遮熱フッ素樹脂塗装ガルバ鋼板※(t=0.35㎜)です。※ガルバ鋼板は、55%アルミニウム - 亜鉛合金めっき鋼板でアイジー工業㈱の登録商標です。
(注1)○土台部・下屋見切り部で縦用スターターを使用する場合、土台部・下屋見切り部に積雪の影響（雪の負荷）のある地域では、アルミ縦用スターター15の使用をお勧めします。縦用スターター15は雪の重みで変形するおそれがあります。
○縦張り時の縦継ぎ部にアルミ縦用スターター15を使用すると、防耐火構造認定の対象外となります。

単位：㎜

段キャップGS15

梱包単位：25本/箱

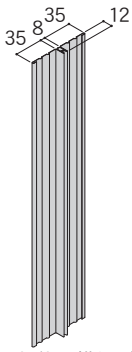


適用部位：横継ぎ

併用

段Tジョイナー15-25

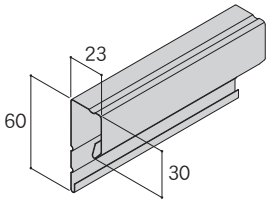
長　　さ：3,030㎜
梱包単位：５本/包



適用部位：横継ぎ

止縁C15

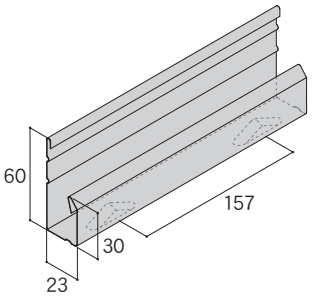
長　　さ：3,030㎜
梱包単位：10本/包



適用部位：軒・開口部

小口カバー15

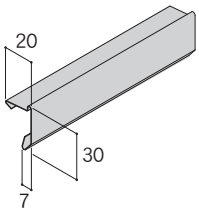
長　　さ：3,030㎜
梱包単位：10本/包



適用部位：開口部

止縁キャップC15

長　　さ：3,030㎜
梱包単位：10本/包

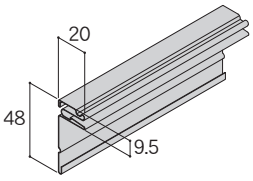


適用部位：軒・開口部

併用

止縁捨板15

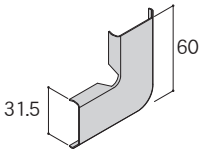
長　　さ：3,030㎜
梱包単位：10本/包



適用部位：軒・開口部

ワンタッチコーナーキャップ15-25

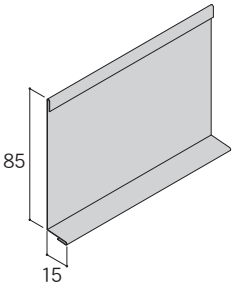
梱包単位：50個/箱



適用部位：開口部

捨板（15×85）(注2)

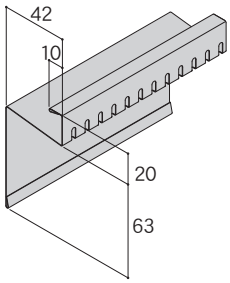
長　　さ：3,030㎜
梱包単位：10本/包



適用部位：開口部

通気軒見切15-25

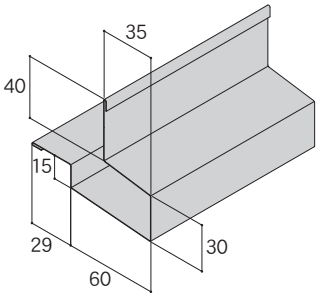
長　　さ：3,030㎜
梱包単位：10本/箱



適用部位：軒

下がり壁水切15-25

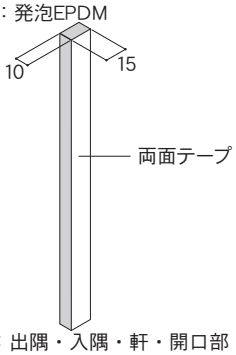
長　　さ：3,030㎜
梱包単位：５本/包



適用部位：下がり壁

パッキン材C

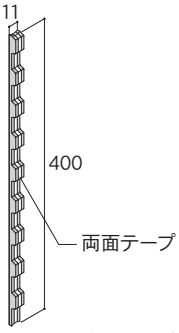
長　　さ：2,000㎜
梱包単位：20本/箱
材　　質：発泡EPDM



適用部位：出隅・入隅・軒・開口部

パッキン材D

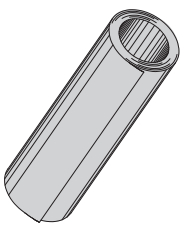
梱包単位：30本/箱
材　　質：発泡ポリエチレン



適用部位：出隅・入隅・軒・開口部

10Mコイル

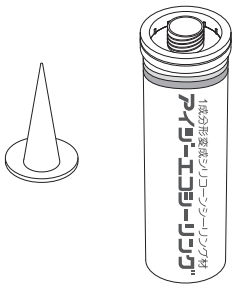
長　　さ：10m
梱包単位：1本/箱
幅　　：914㎜



適用部位：現場加工用

エコシーリング

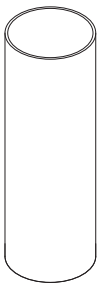
梱包単位：10本/箱
材　　質：変成シリコーン
内 容 量：320ml/本



別売りのホルダーが無いと使用できません

エコシーリングホルダー

梱包単位：２本/箱



タッチアップペイント

内 容 量：15ml/本

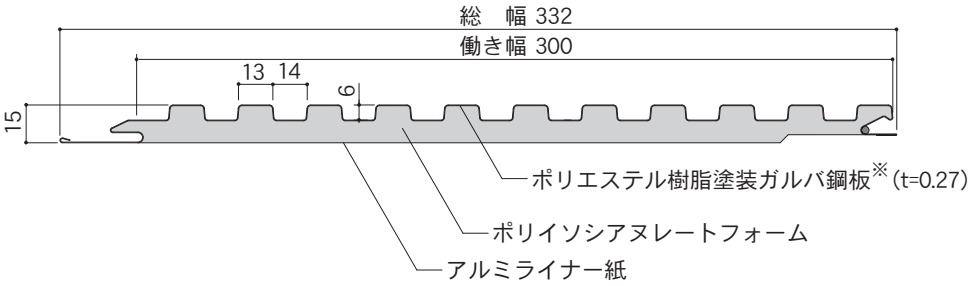
適用部位：補修用

(注2) 捨板（15×85）の材質はポリエステル樹脂塗装ガルバ鋼板※(t=0.35㎜)です。

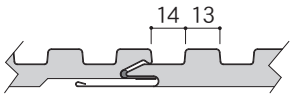
ガルスパンSEi

本体形状断面図

単位：㎜



かん合部



本体規格

・働き幅　300㎜ ・総　幅　332㎜ ・重　量　14.4kg/3.3㎡ ・厚　さ　15㎜ ・張り方向　縦張り	標準品		準標準品		特注品
	長さ	1 梱包（8枚）面積	長さ	1 梱包（8枚）面積	長さ
	3,000㎜	2.18坪（7.20㎡）	6,000㎜	4.36坪（14.40㎡）	2,780～7,000㎜ （10㎜単位で設定可）
	4,000㎜	2.91坪（9.60㎡）			

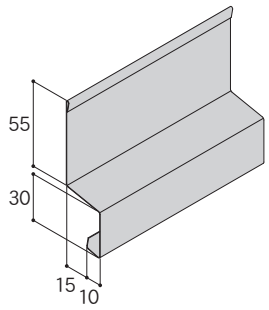
○「準標準品」「特注品」の納期・配送・引き取り方法などにつきましては、事前に必ずご確認ください。
○「特注品」は、1色、1回のご注文につき1サイズ5ケース以上の取り扱いになります。

付属品規格図

単位：㎜

水切15 S

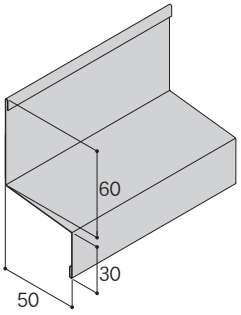
長　　さ：3,030㎜
梱包単位：10本/包



適用部位：土台・縦継ぎ・開口部

通気水切15(注1)

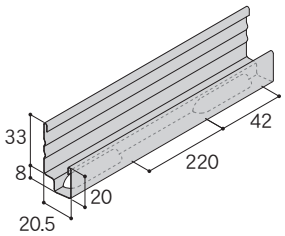
長　　さ：3,030㎜
梱包単位：10本/箱



適用部位：土台

縦用スターター15(注2)

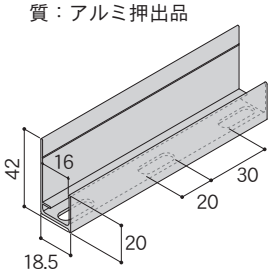
長　　さ：3,030㎜
梱包単位：10本/包



適用部位：土台・縦継ぎ・下屋見切り・開口部

アルミ縦用スターター15(注2)

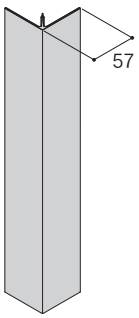
長　　さ：4,000㎜
梱包単位：10本/包
材　　質：アルミ押出品



適用部位：土台・下屋見切り

出隅キャップ15-25 S

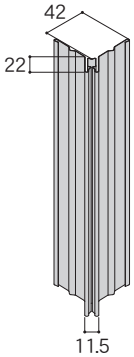
長　　さ：3,030㎜
梱包単位：4本/包



適用部位：出隅

出隅下地15N

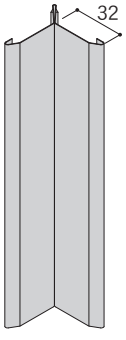
長　　さ：3,030㎜
梱包単位：4本/包



適用部位：出隅

入隅キャップ15-25 S

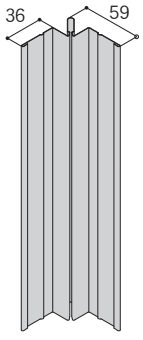
長　　さ：3,030㎜
梱包単位：5本/包



適用部位：入隅

入隅下地15 S

長　　さ：3,030㎜
梱包単位：5本/包



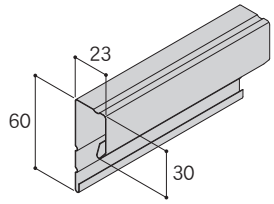
適用部位：入隅

材質はポリエステル樹脂塗装ガルバ鋼板※(t=0.35㎜)です。※ガルバ鋼板は、55%アルミニウム - 亜鉛合金めっき鋼板でアイジー工業㈱の登録商標です。
(注1)○通気水切15、通気軒見切15-25、下がり壁水切15-25 は、材質が遮熱フッ素樹脂塗装ガルバ鋼板※の商品です。
(注2)○土台部・下屋見切り部で縦用スターターを使用する場合、土台部・下屋見切り部に積雪の影響（雪の負荷）のある地域では、アルミ縦用スターター15 の使用をお勧めします。縦用スターター15 は雪の重みで変形するおそれがあります。
○縦張り時の縦継ぎ部にアルミ縦用スターター15 を使用すると、防耐火構造認定の対象外となります。

単位：㎜

止縁C15

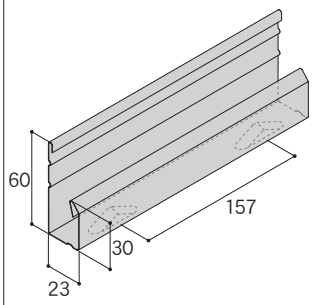
長　　さ：3,030㎜
梱包単位：10本/包



適用部位：軒・開口部

小口カバー15

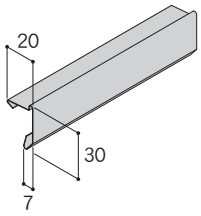
長　　さ：3,030㎜
梱包単位：10本/包



適用部位：開口部

止縁キャップC15

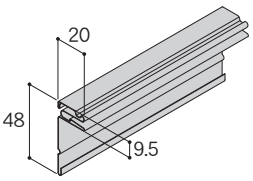
長　　さ：3,030㎜
梱包単位：10本/包



適用部位：軒・開口部

止縁捨板15

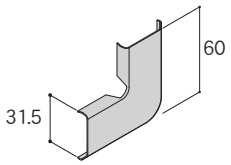
長　　さ：3,030㎜
梱包単位：10本/包



適用部位：軒・開口部

ワンタッチコーナーキャップ15-25

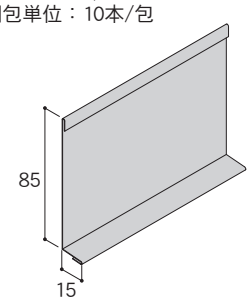
梱包単位：50個/箱



適用部位：開口部

捨板（15×85）

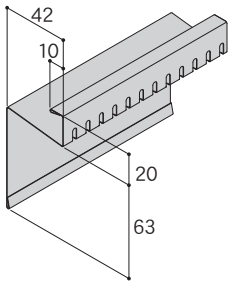
長　　さ：3,030㎜
梱包単位：10本/包



適用部位：開口部

通気軒見切15-25(注1)

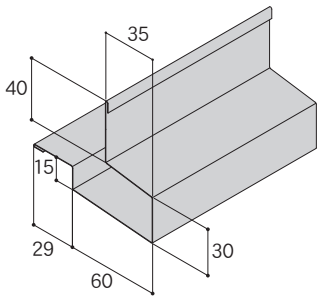
長　　さ：3,030㎜
梱包単位：10本/箱



適用部位：軒

下がり壁水切15-25(注1)

長　　さ：3,030㎜
梱包単位：5本/包



適用部位：下がり壁

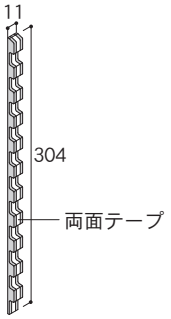
平パッキンSE

長　　さ：2,000㎜
梱包単位：20本/箱
材　　質：発泡EPDM

適用部位：出隅・入隅・軒・開口部

段パッキンSE

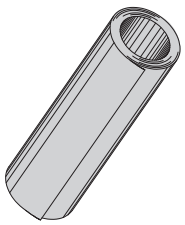
梱包単位：30本/箱
材　　質：発泡ポリエチレン



適用部位：出隅・入隅・軒・開口部

10Mコイル

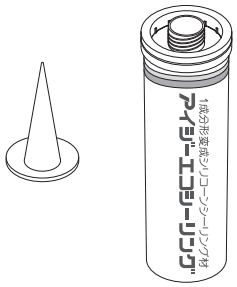
長　　さ：10m
梱包単位：1本/箱
幅　　：914㎜



適用部位：現場加工用

エコシーリング

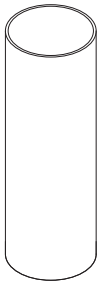
梱包単位：10本/箱
材　　質：変成シリコーン
内 容 量：320ml/本



別売りのホルダーが無いと使用できません

エコシーリングホルダー

梱包単位：2本/箱



タッチアップペイント

内 容 量：15ml/本

適用部位：補修用